



低学年 音楽をはじめよう

楽しい音楽活動を通して 基礎・基本を身に付ける導入の工夫

1 導入の5~10分間で 楽しく力を付ける

楽しい音楽活動を通して基礎・基本を身に付けるようにするために、私は低学年の授業のはじめには次のような活動をするようにしています。

2 はじめましょう

あいさつが済んだら、歌声づくりと和声感を身に付けるために、次のどちらかを歌います。どのクラスも音楽室では横3列に並ぶようにしているので、1列ずつパートを交代しながら3回繰り返します。

【はじめましょう1】

【はじめましょう2】

3 リトミック・「貨物列車」

その次は、曲の感じや速さに合わせて音楽室の中を歩いたり踊ったりして進みます。(低学年の授業では、椅子や道具はまだ脇のほうに置いたままにしています。)演奏は子どもたちの中に入っていけるように独奏用のアコーディオンを使っています。「サザエさん」「オリーブの首飾り」「ラクンパルシータ」「オクラホマミ

キサー」「そうさん」「ウンパッパ」「スケーターズワルツ」など、拍子感のはっきりしている曲がいいようです。

そして、リトミックの後には遊び歌「貨物列車」に取り組みます。同じことの繰り返しなので変化をつけるために、変ホ長調からスタートして半音ずつ上げていきます。そしてへ長調まできた時に、ちょっとテンポを落としてへ短調に変えて伴奏すると、ノリのいいクラスでは泣き真似をしながら歌う子がいたりします。学年が上がって短調について学習する時に、このような経験が役立ちます。

4 リズム打ち

「貨物列車」の後は、私の打つ8拍のリズムを真似てリズム打ちをします。次の【リズム打ち1】からスタートして、だんだん複雑なリズムにしていきます。後半では【リズム打ち2】のようなボディパーカッションによるリズム打ちを取り入れて、リズム感を育てるようにしています。

【リズム打ち1】

【リズム打ち2】

5 今月の歌

この後道具と椅子を持って元の場所に集合しますが、この時の合図は毎回同じ曲(「ビア樽ポルカ」と決めているので、言葉で指示をしなくても自然と子どもたちは道具を持って集まります。

集まったら今月の歌を歌って本時の授業内容に入ります。テンポよく進めると、ここまでの学習活動は5~10分程度で終わります。